

【令和元年度第3回船橋市電話 de 詐欺特別対策協議会 会議概要】

■日時：令和元年11月12日（火）14：00～15：30

■場所：船橋市役所本庁舎分室（県合同庁舎）分室会議室3

1. 開会

2. 警察からの報告

発生状況（10月末現在 認知状況）

- ・船橋警察署 98件（前年同期比－2件）、1億6700万円（－4200万円）
- ・船橋東警察署 71件（ ” －25件）、1億2500万円（＋1500万円）

3. 各機関及び各団体からの報告

警察

- ・10月中に、船橋警察署管内では県内で最も多く被害が発生したため、緊急対策を実施中（船署）
- ・手口としては県内全体で「オレオレ詐欺」が一番多い（船署）
→「息子・孫騙り」、「市役所騙り」の順で多く発生
- ・予兆電話は平日の、特に11時～13時までの間が非常に多い（東署）
→交番別では、習志野台、二和、前原地区が多い
- ・延べ500回以上の防犯講話を重ねており、地道な活動を継続してやっていきたい（東署）
- ・教習所と協定を結び、電話 de 詐欺啓発の協力を依頼（東署）

自連協

- ・10月の旬間の出発式が台風の影響で中止に
- ・地区連や地区社協の会議、「ふれあいサロン」や「ミニデイサービス」にて啓発を実施

社福協

- ・社会福祉協議会を騙って個人情報を盗む事案が発生

市老連

- ・毎月の会議で情報共有をしている
- ・会員の一人がカード搾取の被害に遭った

県くらし安全推進課

- ・9月に、船橋市内で2回の啓発キャンペーンを実施
- ・ハガキ大作戦を継続的に実施

消費生活センター

- ・ハガキによる架空請求の相談が数多く寄せられている
→後納郵便で送られているため、より真実味が増している

市民安全推進課

- ・振り込め詐欺対策電話機等購入費補助金の利用者に対してアンケートを実施
- ・市船美術部に協力を依頼し、チラシとポスターを作成
- ・4月からの補助金の申請件数が1393件、昨年9月からの累計で2600件を超えた（11月8日現在）

4. 今後の対策等やその他意見

東署

- ・千葉ジェッツと協定を結び、電話 de 詐欺啓発のポスター 500部を掲示予定
- ・12月に出動式の代わりとして、「前原見守り隊」を結成
- ・モデル地区として前原に150世帯を予定
 - 「KOBAN」(4000円)という機械を紹介
- ・繁華街には詐欺の受け子や出し子が多くいるため、市でも防犯カメラの設置を検討してほしい

自連協

- ・警察の統計が変わったのは仕方ないが、年比較や月比較のデータを公表してほしい
- ・地区別に、装置を付けた人数と人口を対比するような分析が必要ではないか

市民安全推進課

- ・スマートフォンやAIを活用した振り込め詐欺対策の企画を持ち込まれているので、よいものがあれば実用化に向けて話を詰めたい

市老連

- ・ナンバーディスプレイの活用が効果的ではないか